

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域資源を活用したSDGs教育プログラム開発と体験型観光振興事業
事業主体 (連絡先)	株式会社南信州観光公社
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,563,504 円 (うち支援金: 4,443,000 円)

事業内容

- 第16回全国ほんもの体験フォーラムin南信州の開催
- SDGs教育プログラム及び新学習指導要領の「主体的で対話的な深い学び」に対応した教育旅行プログラムの開発とファシリテーター(学習支援者)育成講座の開催
- 教育旅行における地域資源を活用したSDGs教育プログラムを開発し、その担い手であるファシリテーター(学習支援者)を育成する。そのための研修会を開催し、成果をフォーラムにおいて発表する。



【ほんもの体験フォーラム】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①市場拡大による交流(観光誘客)と経済効果の獲得を目指す。南信州地域の体験型観光の原点と先進性を郡市民が自覚し、担い手の後継者づくりにつなげる。
- オンライン視聴者数 800人(24地区×25人全国各地600人、域内200人)
- ②SDGs教育と新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の両面を習得できる教育旅行向けの体験型課題解決学習のプログラムを開発するとともに、その担い手であるファシリテーターを育成し、教育旅行の適地としての南信州への一層の集客で経済効果を獲得する。
- SDGs教育旅行プログラムの開発61件(農業関係SDGsプログラムは下伊那各市町村での展開可能)、育成研修参加者16人
- ③体験型観光の取組を南信州から発信する
- 全国発信による体験型観光の先進地としてのステータスの獲得

- ①南信州地域の体験型観光の原点確認と先進性の自覚、後継者づくり。
- ②体験型SDGs教育プログラムの開発と担い手人材(ファシリテーター)の育成
- ③体験型観光の取り組みの全国発信による地域ブランド化

※自己評価【A】

【理由】

コロナ禍の影響によりまん延防止重点措置発令時期と重なったため、感染防止を第一に、しかし全国発信するためオンライン開催とした。まずはこの状況下で予定通り開催したこと、また、育成した人材によるSDGs教育プログラムの提供が開始できたことから上記の評価とした。

今後の取り組み

これらの取り組みを通じて、教育旅行業界からは既に新学習指導要領の探求学習とSDGs教育プログラムの先進地として評価されるようになってきた。農泊事業はこの地域から全国に広まった教育旅行のトレンドであったが、コロナ禍において今後の展開が危惧されており、教育旅行の新たな地平線を切り開くことが求められている。

南信州地域はその目標に向かって進む第一歩を記すことができたと考える。

今後さらにこの分野の先駆者として教育旅行界からの評価を高めるとともに、入込数の増加を図り、地域資源の活用によるプログラム開発と人材育成を進め、経済循環と持続可能な地域づくりに貢献する。